

## 飯南町議会って何？

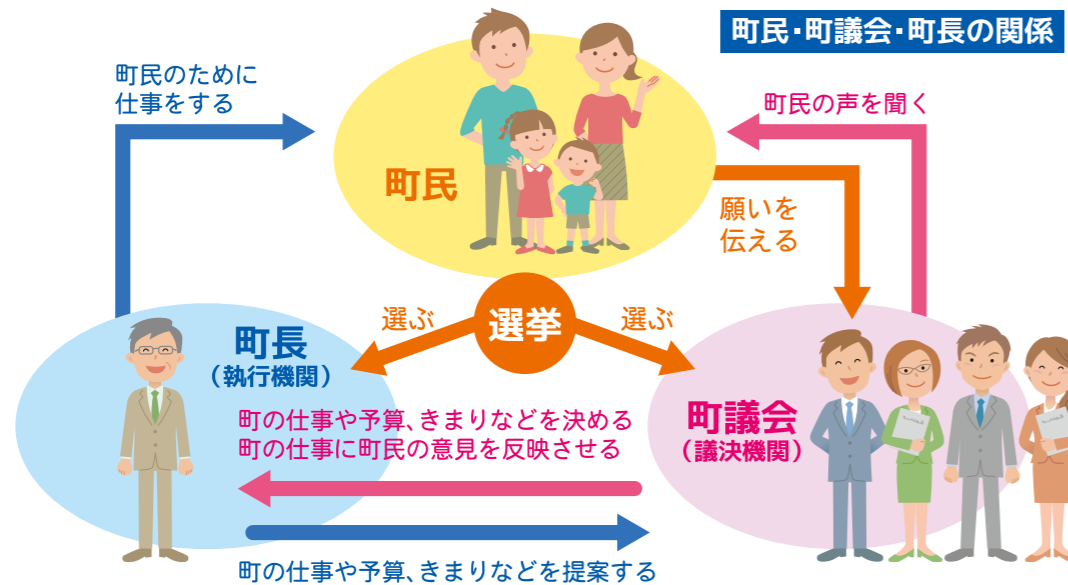
町民のみなさんの暮らしを良くするために、どうしたらいいかを話し合っ決めてところが町議会です。

町議会議員になれるのは、25歳以上の町民です。町議会議員を選挙することができる人は、18歳以上の町民です。＊住民登録をしてから3ヶ月以上の期間が必要です。

選挙は通常4年ごとに行われ、飯南町では10名の議員が選ばれます。議員の一番大切な役目は、町民の声を聞くことです。

### 町民・町議会・町長の関係（二元代表制）

町長と議会の議員が、それぞれ町民による直接選挙で選ばれることを二元代表制といいます。行政側、つまり執行機関と議会は対等であり、緊張関係を保ちながら議論を尽くし、自治運営を行います。



### 飯南町議会の会議と組織

本会議は、定例会（年4回、3月・6月・9月・12月）と臨時会があります。常任委員会として、総務厚生常任委員会と教育経済常任委員会、議会広報常任委員会があり、本会議に上程された議案は担当の委員会に付託され、そこで審議されます。

この他にも必要に応じて、委員会、全員協議会が開かれます。

上程：議案などを会議にかけること

付託：議案の審査を本会議の議決に先だって他の機関に委ねること

総務厚生常任委員会(5人)	教育経済常任委員会(5人)
審議の対象となる課	
総務課・頓原基幹支所・住民課・まちづくり推進課・保健福祉課・福祉事務所・飯南病院	産業振興課・教育委員会・建設課

### 陳情と請願について

皆さんが、こうしてほしいと思っている意見や要望を文書にして、町議会に提出することができます。これを「陳情」といい、議員を通して出す文書を「請願」と言います。町議会は受理した文書を審査し、内容が認められたものは、町の仕事の中で進めるように執行機関へ伝えます。

## 一般質問

令和6年  
3月定例会

## 赤穴蔵之助の 足跡を調べては

安部 誠也 議員



### Q 萩焼の発祥の地は赤名

萩焼の開祖は李勺光・李敬兄弟といわれている。その一方で、古陶磁研究家の佐藤進三や萩焼きの陶芸家の大家でもある坂田泥華などの文献などによれば、三輪家も文禄の役折、毛利家重臣の六戸元統（毛利元就の外孫）が朝鮮半島に出征した際に朝鮮人陶工を連れ帰り、赤穴蔵之助を名乗らせたのが始まりである。当初は出雲赤穴で窯を焼かせた。関が原の戦いで西軍の総大将を務めた毛利家が周防・長門の2カ国に滅封されると、それに伴って萩へと移り住んだ。萩の城下で独自に焼き物を焼いていた赤穴家であったが、3代目の赤穴忠兵衛の焼き物が評判となり、藩主の毛利綱広（毛利輝元の孫）の聞き及ぶところとなり、赤穴忠兵衛を御雇細工人として召し抱え三輪の名字を与え、京都の楽焼を学ばせたとされている。

しかし、先の坂田泥華著には、三輪家の発祥は二説があり、現在、発祥の地は大和の三輪だと言っている。長年の疑問を解決するために、2015年に実際に三輪雪氏の窯元を訪ねたが、家人より「大和の三輪だ」と言われた。文献によれば、赤穴蔵之助の赤名での焼成期間は5、6



年程度。現在の赤名周辺を調べても窯、窯跡が見あたらないし、当時は瓦ばかり焼いていたらしいが、その瓦の破片も出てこない。町長の公約にも「歴史・文化を感じるまちづくり」とある。永年いわれていた赤穴蔵之助の足跡を調べるべきでは。

### A 情報収集してみたい

町長塚原隆昭

萩焼の発祥の地は赤名であると聞き本当に驚いた。三輪家は萩焼の屈指の名門とされ、人間国宝も輩出されている。萩市の萩博物館に問い合わせたところ、明和3年（1766年）に三輪窯5代の三輪利近が藩に提出した「略系伝書御書渡写」に記録がある。あまり知られていない地域の歴史や郷土を築いた人々を知ることが、地域への愛着が生まれると感じる。本格的な調査にはならないが、萩焼のルーツになった人物の情報収集を行いたい。